公益社団法人日本動物学会 令和５年度中部支部大会（三重大会）開催報告

令和５年度の日本動物学会中部支部大会を、令和５年 12 月２日と３日に三重大学上浜キャンパスの生物資源学部棟で開催いたしました。対面での参加を基本とし、高校生の口頭発表のみオンラインとの併用で行いました。昨年度と同様に中部支部が主催するクラウドファンディングにより得られた寄附金を高校生参加者の旅費支援に充てると案内したこともあり、高校生の口頭発表は３題、ポスター発表は９題でした。加えてオンラインの口頭発表が６題ありました。学生（高専専攻科生・大学生・大学院生）の口頭発表が 18 題、ポスター発表が 19 題、一般の口頭発表が３題、ポスター発表が４題でした。参加者は現地会場が 145 名、オンラインが 27 名となりました。

高校生や学生の発表のうち、事前にエントリーがあったものを発表賞の審査対象とし、それぞれの研究内容やプレゼンテーションについて中部支部役員に評価していただきました。その結果、高校生の口頭発表では１件の最優秀賞と８件の優秀賞を、ポスター発表では２件の最優秀賞と７件の優秀賞を選考しました。学生の口頭発表では４件の最優秀賞と４件の優秀賞を、ポスター発表では３件の最優秀賞と４件の優秀賞を選考しました（次ページ以降に記載）。

また、ポスターや口頭発表に先んじて行われた公開シンポジウムでは、「水圏生物と性」をテーマとして４人の先生にご登壇いただきました。宮川尚子氏（千葉県文化振興課）には「退化した骨盤から探るクジラの繁殖戦略」と題して、骨盤周辺の肉眼解剖的観察から考察される鯨類の繁殖戦略についてご講演いただきました。船坂徳子氏（三重大学大学院生物資源学研究科附属鯨類研究センター）には「水族館で行う鯨類の繁殖研究」と題して、日本の水族館で喫緊の課題となっている鯨類の人工繁殖に向けた様々な研究についてご紹介いただきました。横井佐織氏（北海道大学大学院薬学研究院）には、「メダカの親密度依存の配偶者選択とオキシトシン」という題目で、いわゆる顔見知りの度合いが配偶者選択にどのように影響しているか、その分子基盤を探る一連の研究を紹介していただきました。菊池潔氏（東京大学水産実験所）には「性ステロイドが性を決定するという仮説について」と題して、海産魚類の性決定機構、マスターとなる性決定遺伝子と性ステロイドとの関係についてご講演いただきました。鯨類や魚類が示す性や生殖のあり様と、それらに対して各先生が独自の観点から切り込んでいらっしゃる一端を垣間見ることができました。2 日夜にはシンポジストを囲む会も開催して議論や親睦を深めました。席数の関係から参加の意向に沿えなかった先生方にはお詫び申し上げます。なお、この公開シンポジウムは本学の生物資源学研究科附属鯨類研究センターとの共催で行い、関係の方々には多大なるご支援やご協力を賜りました。改めて感謝申し上げます。

以上、皆様のご協力のおかげで充実した中部支部大会を開催することができましたこと、深くお礼申し上げます。実行委員一同安堵しております。至らぬ点も諸々あったかと思いますが、何卒ご容赦ください。来年度の中部支部大会は福井大学文京キャンパス（福井県福井市）にて開催される予定であるほか、再来年度には名古屋で動物学会の本大会も行われます。こちらへのご参加もどうぞよろしくお願いいたします

2023 年 12 月 16 日

大会実行委員　筒井 直昭、船坂 徳子、古丸 明、後藤 太一郎

各賞表彰

学生（高専専攻科生・大学生・大学院生）部門

最優秀口頭発表賞

OB06　山内 花音[1]，大津 樹[2]，千頭 康彦[1]，後藤 寛貴[1,2]（[1]静岡大学・理・生物，[2]静岡大学・院創科・バイオサイエンス）コクワガタにおける羽化後の生殖巣発達過程の観察

OB11　芦原 流聖[1]，藤原 克斗[1]，前川 清人[2]（[1]富山大院・理工，[2]富山大・学術・理）ネバダオオシロアリにおけるβ-グルコシダーゼ遺伝子の各パラログの発現解析

OB15　鈴木 義己[1]，神部 飛雄[2]，北野 潤[2]，日下部 誠[1]（[1]静岡大学・理，[2]国立遺伝学研究所）イトヨにおける仔稚魚期の甲状腺形成メカニズムの解析

OB16　神部 飛雄[1,2]，鈴木 義己[3]，前野 哲輝[2]，細木 拓也[4]，奥出 紘太[2]，山﨑 曜[1,2]，日下部 誠[3]，北野 潤[1,2]（[1]総合研究大学院大学，[2]国立遺伝学研究所，[3]静岡大学，[4]北海道大学・北方圏）イトヨにおける淡水適応を担う甲状腺機能調節の進化

優秀口頭発表賞

OB03　植田 裕之介[1]，石井 日香留[2]，西村 琉記[1]，森山 昭彦[1,2]，松原 和純[1,2]（[1]中部大学・院応用生物学研究科・応用生物学専攻，[2]中部大学・応用生物学部・環境生物科学科）愛知県西部周辺地域におけるミナミメダカの遺伝的構造について

OB05　大嶋 詩響[1]，小木曽 正造[1]，豊田 賢治[1]，渡辺 数基[2]，平山 順[2]，丸山 雄介[3]，服部 淳彦[3]，松原 創[4]，鈴木 信雄[1]（[1]金沢大学・臨海実験施設，[2]公立小松大学，[3]立教大学，[4]金沢大学・能登海洋水産センター）夜間におけるアオゴカイの行動を制御するインドール化合物に関する研究

OB07　近藤 颯人[1]，大津 樹[2]，千頭 康彦[1]，道羅 英夫[3]，後藤 寛貴[1,2]（[1]静岡大学・理・生物科学、[2]静岡大院・創造科学技術・バイオサイエンス、[3]静岡大学・グリーン研）クワガタムシ科における*transformer*遺伝子の重複タイミングの推定

OB10　小田 丈喜[1,2]，中村 太郎[2,3]，森田 慎一[2,3]，新美 輝幸[2,3]（[1]名古屋大学大学院・理学専攻生命理学領域，[2]基礎生物学研究所・進化発生研究部門、[3]総合研究大学院大学・先端学術院・基礎生物学コース）ニホンホホビロコメツキモドキのメス頭部でみられる左右非対称な形態

最優秀ポスター発表賞

PB04　加藤 巧己[1]，大平 敦子[2,3]，中森 泰三[3]，大場 裕一[4]，別所-上原 学[1,5]（[1]名古屋大学理学研究科，[2]多摩六都科学館，[3]横浜国立大学環境情報院，[4]中部大学応用生物学部，[5]名古屋大学高等研究院）イボトビムシの発光メカニズム解明に向けた取り組み

PB13　長屋 美希[1]，山家 秀信[2]，古屋 康則[3]（[1]岐阜大学・連農，[2]東農大・生物産業，[3]岐阜大学・教育）トゲウオ科のオスが分泌する巣材接着物質はメスを誘引するか？

PB19　髙縄 真大朗，川村 敏之（福井工業高等専門学校物質工学科）アオスジアゲハから単離したクルトバクテリウムの色彩表現メカニズム

優秀ポスター発表賞

PB02　杉浦 幹太，後藤 寛貴（静岡大学・院総科・生物）タケウチトゲアワフキにおける小楯板トゲの形成過程

PB08　竹内 梨乃[1]，大平 剛[2]，古川 雄裕[1]，山根 史裕[3]，豊田 賢治[4]，筒井 直昭[1]（[1]三重大学・院生物資源，[2]神奈川大学・理，[3]三重県栽培漁業セ，[4]金沢大学・環日本海環境セ）クルマエビのインスリン様ペプチド*Maj-gonadulin*の機能解析

PB11　富樫 彩音[1]，中町 智哉[2]，松田 恒平[2]，今野 紀文[2]（[1]富山大・院理工・地球生命環境，[2]富山大・学術・理学系）メダカの鰓に発現するカルシウム活性化クロライドチャネルANO１の高浸透圧およびコルチゾールに対する発現応答

PB18　岡島 紗良，竹内 浩昭（静岡大学・理・生物）ホウジャク亜科の吸蜜ホバリング飛行における前脚・口吻・虫体の位置調節

高校生部門

最優秀口頭発表賞

OA03　田中 葉（長野県松本県ヶ丘高校）長野県松本盆地の屋敷林・社寺林における猛禽類の生態とその林の役割

優秀口頭発表賞

OA01　藤江 優光，望月 倫，伊藤 ミモザ，渡邊 竣，長岡 さゆり，肥田 友希，大津 孝佳（沼津工業高等専門学校・知財のTKY）駿河湾深海調査2030 mへの挑戦と新たな観光モデルへの展開

OA02　片桐 遼介，國枝 楓香，牧野 倭士，水谷 澪（岐阜県立大垣東高校）ハリヨ生息地に増設された池におけるハリヨ個体群の定着

OA04　清家 凛太郎，寺川 六空，中嶌 愛結，藤森 咲紀，峰田 紡（長野県松本県ヶ丘高校）貝を持つ生き物の体の起こし方

OA05　三澤 陽，真野 結奈，大久保 真衣，高須賀 央亮，塚越 彩里（長野県松本県ヶ丘高校）ヤドカリのヤド探し

OA06　廣瀬 誠，齊藤 妃由，松崎 晴，米 愛夏，滝沢 葵（長野県松本県ヶ丘高校）シロウミウシの盗葉緑体現象に関する考察

OA07　柴 葉月，中山 絢乃，松原 慶治，村山 昴輝（石川県立七尾高等学校）ドジョウ飼育水における様々な温度での環境DNA量の経時的変化

OA08　浅田 遥音，金沢 寧々，竹澤 翔，田中 竣，延田 考聡，山口 色葉（石川県立七尾高等学校）環境DNAを用いた能登地域の河川の魚類相の調査

OA09　延田 考聡，山端 美潤（石川県立七尾高等学校）ツボシメジカイメンのろ過能力について

最優秀ポスター発表賞

PA06　伊藤 ミモザ，藤江 優光，望月 倫，渡邊 竣，長岡 さゆり，肥田 友希，大津 孝佳（沼津工業高等専門学校・知財のTKY）　SNSを活用した駿河湾の鯨類調査とChatGPTを用いた考察

PA08　清水 結月，渡邉 咲奈（長野県松本県ヶ丘高校）活性汚泥を用いた廃棄野菜の短時間かつ効率的な液肥化

優秀ポスター発表賞

PA01　村井 蓮蔵，喜多 莉央，安藤 鈴奈，重見 和希，廣垣 はるひ，山本 かのみ，石坂 竜海，河俣 美来（三重県立宇治山田高校）宮川水系の水質調査を通じた環境の変化についての考察

PA02　伊藤 渉晴（三重県立四日市高等学校）紀伊長島におけるアコヤガイ*Pinctada fucata* の分布と生態

PA03　伊東 美森（三重県立四日市高等学校）ウズラの行動と卵殻模様の規則性

PA04　渡邉 愛梨，鈴木 沙弥，藤原 孝充，山下 知毅，ファイマ ダオヤン，甲斐 穂高（鈴鹿工業高等専門学校）メダカのエラ開閉に注目した水環境の評価

PA05　望月 倫，藤江 優光，伊藤 ミモザ，渡邊 竣，長岡 さゆり，肥田 友希，大津 孝佳（沼津工業高等専門学校・知財のTKY）駿河湾深海2030 mの調査による海底地形と生物多様性

PA07　藤島 妃那[1]，土屋 友梨花[2]，藤島 汐希[3]，伊藤 ミモザ[4]，藤江 優光[4]，大津 孝佳[4]（[1]沼津市立門池中学校, [2]静岡市清水第二中学校, [3]沼津市立門池小学校，[4]沼津工業高等専門学校・知財のTKY）深海生物の特性を活かしたTRIZ発想法とバイオミメティクスロボットへの応用

PA09　金田 舞（長野県松本県ヶ丘高校）ヒトデの走光性と運動の規則性